

令和3年度

# 小論文

(60分)

短期大学部 食物栄養学科

解答はすべて解答用紙に記入すること

## 注意事項

- 1、試験開始の合図があるまで、この問題用紙を開かないこと。
- 2、問題用紙は、表紙を含めて3ページである。
- 3、解答用紙は、2枚である。2枚とも解答すること。
- 4、受験番号・氏名は、監督者の指示に従って記入すること。
- 5、問題用紙の余白等は適宜使用してよい。

# 問題 (その1)

短期大学部 食物栄養学科

下記の文章を読んで、次の問いに答えなさい。

豊かで秩序だった自然が今、増加するいっぽうの永続的プラスチックで、海洋も陸も汚染されている。海洋のプラスチックはほとんど取り除けないし、すぐには消滅もしない。海と美しいビーチに、未来永劫、醜い姿をとどめるだろう。私たちの時代を<sup>(1)</sup>トクチョウづけ、現代生活を容易にしている物質であるプラスチックが、地球上の生命の培養器である海洋にこの悲しい運命をもたらしたのだ。この病の治療薬はないだろう。地球上のすべての人類の毎日の生活がプラスチックごみを生み出しているのであり、それが知らないうちに、あるいは知っていて、自然を破壊している。

<中略>カッサンドラ・フィリップスと私は、「プラスチック禍」の状況と原因を詳しく論じ、<sup>(a)</sup>グローバル経済に根本的な転換が起こらない限り、汚染の増大を食いとめることはできないだろうという結論に至った。<sup>(b)</sup>汚染が起こるのは、プラスチックを使用するのが経済的で便利だからだというこの単純な事実をまず認めて、それから働きかけなくてはならないだろう。グローバル経済に浸透している「成長か消滅か」という絶対的<sup>(2)</sup>ガイネンが、汚染問題の根幹にある。それがすぐに不要になる、数百万トンのパッケージと使い捨て用品を生み出している。それはどこへともなく逃れ出て、遠くの、どこでもないどこかをめざしてなくなるのだろうという幻想を、人間は文明の誕生以来信じてきた。

私たちのまわりにおいて人間を支える海を愛するなら、陸での製造と消費をおさえる必要があることを理解すべきだし、物資はどんどん貴重になるのだから再生産、再利用するべきだ。そうできたときに初めて、海洋の広大な居住<sup>(3)</sup>カンキョウはゆっくりと回復し、地球上で最大の生態系である海に棲む、プランクトンから最大のクジラにいたるまでの生物は、窒息させられるようなプラスチックごみの脅威から解放されるだろう。

出典 [Plastic Ocean: How a Sea Captain's Chance Discovery Launched a Determined Quest to Save the Oceans by Charles Moore. Reproduced with permission of the author.]

チャールズ・モア、カッサンドラ・フィリップス著、海輪 由香子訳、「プラスチックスープの海」、NHK出版より一部抜粋・改変

問1 本文中の\_\_\_\_\_を引いた語句 (1) (2) (3) のカタカナを漢字に、\_\_\_\_\_を引いた語句 (a) (b) を英単語 (すべて小文字) にそれぞれ直しなさい。

問2 上記の文章を読み、あなた自身の考えを 400 字以内 (句読点も 1 字に数える) で述べなさい。

# 問 題 (その2)

## 短期大学部 食物栄養学科

下の表は、一般人を対象に「ゆっくりよく噛んで食べるために必要なこと」を調査した結果である。この表を見て、次の問いに答えなさい。

(複数回答)

	該 当 者 数	早 食 い の 習 慣 を 直 す こ と	食 事 時 間 が 十 分 に 確 保 さ れ て い る こ と	ゆ っ く り よ く 噛 ん で 食 べ る こ と の メ リ ッ ト を 知 っ て い る こ と (健康に いいこと や味わ いを得 られる など)	歯 や 口 が 健 康 で あ る こ と (歯 や 口 に 痛 み が な い こ と や 歯 が 揃 っ て い る こ と な ど)	入 れ 歯 を 入 れ て い る こ と な ど	何 で も 噛 め る 状 態 で あ る こ と (健康な 歯が残 っている ことなど)	誰 か と 一 緒 に 食 事 を す る こ と	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
[全世代] 総数	792	62.8	35.6	24.6	24.2	19.3	15.4	1.6	1.4	184.9	
[性別] 男性	379	65.2	30.6	24.5	19.3	16.9	14.2	1.8	2.4	174.9	
女性	413	60.5	40.2	24.7	28.8	21.5	16.5	1.5	0.5	194.2	
[若い世代(20～39歳)] 総数	189	60.8	50.8	27.5	18.5	14.3	14.8	1.1	0.5	188.3	
男性(20～39歳)	91	61.5	46.2	27.5	17.6	17.6	17.6	1.1	1.1	190.2	
女性(20～39歳)	98	60.2	55.1	27.6	19.4	11.2	12.2	1.0	-	186.7	
[性別・年齢] (男性)											
20～29歳	32	71.9	50.0	31.3	12.5	15.6	12.5	-	-	193.8	
30～39歳	59	55.9	44.1	25.4	20.3	18.6	20.3	1.7	1.7	188.0	
40～49歳	84	69.0	34.5	26.2	16.7	15.5	19.0	1.2	-	182.1	
50～59歳	58	77.6	39.7	25.9	13.8	10.3	12.1	-	-	179.4	
60～69歳	84	57.1	19.0	20.2	26.2	17.9	10.7	3.6	7.1	161.8	
70歳以上	62	64.5	9.7	22.6	21.0	22.6	9.7	3.2	3.2	156.5	
(女性)											
20～29歳	36	58.3	50.0	30.6	19.4	13.9	16.7	-	-	188.9	
30～39歳	62	61.3	58.1	25.8	19.4	9.7	9.7	1.6	-	185.6	
40～49歳	78	48.7	53.8	28.2	28.2	19.2	24.4	-	-	202.5	
50～59歳	83	63.9	45.8	25.3	25.3	20.5	15.7	3.6	-	200.1	
60～69歳	77	70.1	23.4	24.7	39.0	28.6	15.6	2.6	-	204.0	
70歳以上	77	59.7	18.2	16.9	35.1	31.2	15.6	-	2.6	179.3	

食育に関する意識調査結果(令和2年3月 農林水産省)から引用

注：M.T.は複数回答において回答数の合計を回答者数で割った比率

- 問1 全世代における、「ゆっくりよく噛んで食べるために必要なこと」で、最も割合が高い項目名を答えなさい。
- 問2 性別データにおいて、男性と女性で最も差の大きな項目を答えなさい。
- 問3 女性(60～69歳)が重視する項目で、割合(%)が高いものから順に1位から3位まで答えなさい。
- 問4 60～70歳以上において、「食事時間が十分に確保されていること」を重視する人の割合(%)が、それ以前の年齢より低い理由を、社会的状況を踏まえ50字以内(句読点も1字とする)で答えなさい。
- 問5 アンケート回答の「ゆっくりよく噛んで食べることのメリットを知っていること」について、あなたの考えるメリットとは何か、理由を明確にして100字以内(句読点も1字とする)で答えなさい。